

今回の模擬授業を通して準備段階から本番までの反省点や継続していきたい点を挙げる。

まず一番の反省点は、時間内に終わらなかったことである。時間制限が設けられている課題において時間オーバーというのは、いくら準備や練習を多くしたとはいえ、言い訳にはいけない。事実、時間をオーバーしてしまったということは、練習の段階から気が付くことができなかった自分の能力不足である。教育実習に置き換えてみても45分以内に終わらないということになり、それは児童や先生方の休み時間を削ってしまうことになる。これでは迷惑をかけてしまう。時間以内に終わらなかった原因として机間指導時の時間配分を誤ってしまったことがある。これには、デジタル時計を用いることが簡単にできる改善方法である。今回自身が机間指導に出ている間、時間を確認する術がなかったため、必要以上に時間を費やしてしまった。確認する術があれば、これは改善できるだろう。

二つ目の反省点は、授業の略案についてである。事前に山口先生に提出した略案とは少々内容の異なる展開で授業を行った。提出してからも「こっちの方が分かりやすかったのではないか」や「ここにこれを入れたら面白くなるかも」などと考え続けた結果の授業であった。より良い授業を作ろうという意気込みは良いと思うが、これが教育実習中であったなら、授業案について話し合った内容と違いが生まれてしまう。これでは、忙しい合間を縫って一緒に考えてくれた先生にも申し訳なく、話し合ったことと違うことを行うため失敗するリスクも高まってしまう。こういった自分の優柔不断なところも直していきたい。しかし、より良い授業を作りたいという気持ちはこのまま残しておきたい。

三つ目の反省点は板書である。練習はしたのだが、まだまだ黒板に書く文字が綺麗とは言い難かった。現在空きコマなどを利用して黒板に字を安定して綺麗に書く練習を行っているが、未だ実践で目を惹くものになっていないため継続して練習を行う必要がある。書き順などについても、模擬授業の練習をしている際、「内」と「本」の書き順が違っているとの指摘があった。これらの板書や書き順に関しても継続して努力していきたい。

また、準備をしっかりしている点や、声の大きさやトーン・強弱などについては、よい評価をいただいた。しかし、今回褒めてもらったからと言って安心するのではなく、長所としてさらに伸ばしていきたい。

個人的には今回「自分らしさ」を全面に出して授業を行おうと決めていたため、自分が得意とする絵などを多く活用し、それが結果的に良い効果を発揮した。自分がやろうと決めたことがプラスに働いたため自信に繋げることもできた。今回のことを踏まえ、改善点は改善できるよう努力をし、一つ一つの授業を挑戦だと思い、常に成長をし続けたい。また、評価をしてくれた学習者役の仲間も含めてみんなに感謝をしたい。山口先生ご指導ありがとうございました。